

# 胃集検通信

【季刊】 No. 55

〔日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会機関紙〕 1部頒布定価1,000円〔千共〕

題字・黒川利雄先生

発行所  
日本消化器集団検診学会  
関東甲信越地方会  
(〒170-0001) 東京都豊島区西巣鴨1-9-3  
井合ビル1F  
発行兼 関東甲信越地方会  
編集者 編集委員会

《 臨時特集号 》

## 平成11年度 事業報告(案) 収支決算書(案)

【目次】

平成11年度事業報告	1
Ⅰ. 会議	1
Ⅱ. 学術講演会	6
Ⅲ. 各部会報告	7
Ⅳ. 専門部会報告	12
Ⅴ. 機関紙『胃集検通信』の発刊	15
Ⅵ. 会員の状況	16
関東甲信越地方会の組織・財政について	18
Ⅰ. 財政	18
Ⅱ. 組織と運営	20
Ⅲ. 今後の会運営	20
関東甲信越地方会の資産推移	21
関東甲信越地方会の収入支出推移	22
平成11年度収支決算書《収入の部》	23
平成11年度収支決算書《支出の部》	24
平成11年度収支決算書《財産一覧表》	26
会計監査報告	26

日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨1-9-3 井合ビル

TEL・FAX 03-3915-6179

(別紙 1)

# 平成11年度事業報告

(期間：平成11年4月1日～平成12年3月31日)

## 1. 会議

1. 企画調整会議 《委員8名》◎笹川道三，今村清子，石渡良徳，海老根精二，玉置扶美代，  
早川すみえ，小野良樹，大波 忠，

〔第1回〕

日 時：平成11年6月3日（木）午後6時～8時30分

会 場：関東甲信越地方会事務所

《出席》7名，《欠席》1名

協議事項：

(1)各部会活動報告

(2)平成10年度会計収支決算並びに会計監査報告

(3)各専門委員会の活動状況並びに委員の補充について

①企画調整会議

※次回より今村清子委員が加わることが提案され了承された。

②財務委員会

※補充委員（事務担当者）の選出は，丸山雅一代表に委嘱する。

③編集委員会

※現行体制で進める。

④胃集検標準撮影方式再検討委員会

※馬場保昌先生に丸山雅一代表が委員長を依頼し活動を始める。

⑤ペプシノーゲン検査法委員会

※委員選出について議論されたが，具体的な活動については議論がなかった。

⑥消化管造影技師法律問題対策委員会

※委員に大波 忠，海老根精二を加え，加藤健次（東京法律事務所）弁護士にチューターを依頼し，2カ月に1度，技師による医行為の法的問題の会議を開く。

⑦胃部造影指導技師・指導施設制度検討委員会

※放射線技師部会研修委員会がそれに代わる会議体となり試案を作成し提案する。

(4)部会委員会活動費の改定

※本年度は放射線技師部会50万円，超音波部会30万円，保健衛生部会20万円とし，部会活動費を決める原則は来年度予算編成前に議論をし決めることにした。

(5)常任世話人の推薦

※増田英明（横浜市立病院がん検診センター）医師の推薦が決まる。

〔第2回〕

日 時：平成11年8月27日（木）午後5時～8時

会 場：関東甲信越地方会事務所

《出席》8名，《欠席》1名

協議事項：

(1)各部会の活動報告

(2)各専門委員会活動状況報告

財務委員会

編集委員会

胃集検標準撮影方式再検討委員会

ペプシノーゲン検査法委員会

消化管造影技師法律問題対策委員会

胃部造影指導技師・指導施設制度検討委員会

(3)地方会開催について

①第58回地方会（平成11年 9月18日，東京，岩崎有良会長）

②第59回地方会（平成12年 3月25日，群馬，家崎 智会長）

③第60回地方会（平成12年 9月 9日，横浜，今村清子会長）

④第61回地方会（平成13年春期）予定

(4)平成10年度収支決算案

(5)代表世話人の交替

※第38回日本消化器集団検診学会総会での支部長交替に伴い市川先生より丸山先生へ

(6)常任世話人・世話人の移動と追加

(7)会則改正について（主な事項）

①第3章会員：区分（団体・個人・賛助・名誉・準），会員呼称（A・B・C）等

②第4章役員：欠損部分（常任世話人・監事）の補充

③第7章委員会および部会：超音波部会の新設，実施機関連絡協議部会の削除

④補足条項：解散時の残余財産の帰属等

〔第3回〕

日時：平成12年3月3日（金）午後5時～8時

会場：関東甲信越地方会事務所

《出席》8名，〈欠席〉1名

協議事項：

(1)地方会開催について

①第59回関東甲信越地方会（家崎 智会長）

②第60回関東甲信越地方会（今村清子会長）

※平成12年1月28日の「合同開催の会議」の審議を受け議論された。

③第61回関東甲信越地方会の開催

※石川 勉会長（栃木県立がんセンター）が提案された。

(2)各部会活動報告並びに事業計画案

(3)平成12年度予算案（事務局試案）の検討

(4)会則改訂案（事務局試案）の検討

(5)鈴木武松監事（会計監査委員）辞任に伴う交替の件

※新監事に萩原 明（神奈川県予防医学協会）が提案された

(6)常任世話人・世話人の件

①非会員である常任・世話人役員について

- ②常任世話人・世話人の異動と追加  
(7)各委員会委員の補充と活動について

①財務委員会

※新たな委員の推薦はなかった。

②編集委員会

※「胃集検通信」の“新聞より会誌”への形態変更が提案された。

(8)胃集検標準撮影方式再検討委員会

(9)ペプシノーゲン検査法委員会

(10)消化管造影技師法律問題対策委員会

※加藤健次弁護士（東京法律事務所）への依頼が提案された。

(11)胃部造影指導技師・指導施設制度検討委員会

※各県別「胃部造影指導技師・指導施設」第一次放射線技師部会案が出された。

## 2. 常任世話人会の開催

〔第1回〕

期 日：平成11年9月3日（金），《出席》27名

会 場：癌研究会付属病院 癌化学療法センター会議室

〔第2回〕

期 日：平成12年3月8日（水），《出席》27名

会 場：アルカディア市ケ谷 会議室

## 3. 世話人会の開催

〔第1回〕

期 日：平成11年9月18日（土），《出席》53名

会 場：アルカディア市ケ谷「鳳凰東の間」

挨拶：第58回関東甲信越地方会 岩崎有良 会長

議 事：※下記事項が審議された

(1)平成10年度事業報告（案）について

(2)平成10年度収支決算報告（案）について

(3)平成10年度会計監査報告

(4)第32回放射線技師部会開催報告

期 日：平成11年10月16日（土）

会 長：堤直葉（越谷市立病院）

会 場：サンシティ越谷市民ホール

(5)第1回超音波部会開催準備報告

期 日：平成11年11月27日（土）

会 長：小野良樹（日本大学医学部第3内科）

会 場：新宿野村ビル，コニカ会議室

(6)第59回地方会開催準備報告

期 日：平成12年3月25日（土）

会 長：家崎 智（群馬県医師会）  
会 場：新前橋，群馬県社会福祉総合センター

(7)第60回地方会開催準備報告

期 日：平成12年9月9日（土）  
会 長：今村清子（横浜市立市民病院）  
開催地：櫻木町，パシフィコ横浜（横浜国際平和会場）

(8)第33回放射線技師部会開催準備報告

期 日：平成12年10月7日（土）  
会 長：鈴木隆夫（長野厚生連佐久総合病院）  
会 場：佐久市，ホテルゴールデンセンチュリー

(9)第61回地方会開催について

(10)地方会の各部会合同開催について

(11)代表世話人の選出について

(12)常任世話人・世話人の移動と追加

(13)会則の改正の提案

〔第2回〕

期 日：平成12年3月25日（土），《出席》40名

会 場：群馬県市町村会館 会議室

挨 拶：第59回関東甲信越地方会 家崎 智 会長

議 事：※下記事項が審議された

(1)地方会開催について

①第60回関東甲信越地方会開催について（今村清子会長）

②第61回関東甲信越地方会開催について

※平成13年秋期開催，石川 勉会長（栃木県立がんセンター）が決まった。

(2)各部会活動報告並びに事業計画について（各部会代表より）

(3)平成12年度予算案の件

(4)会則改訂案の件

(5)鈴木武松監事（会計監査）辞任（平成11年9月8日届出）に伴う交替の件

※新監事 萩原 明（神奈川県予防医学協会）

現監事 倉井 亮（足立区医師会 倉井内科医院）

(6)常任世話人・世話人の件

①現行常任世話人・世話人の非会員役員解任について

②常任世話人・世話人の推薦と異動

※新常任世話人 斎藤洋子（茨城県総合健診協会）

(7)各委員会の活動状況報告

①財務委員会

②編集委員会

※「胃集検通信」の“会誌”への形態変更

③胃集検標準撮影方式再検討委員会

④ペプシノーゲン検査法委員会

⑤消化管造影技師法律問題対策委員会

※担当弁護士の今後の役割について

⑥胃部造影指導技師・指導施設制度検討委員会

※「胃部造影指導技師・指導施設」案について

#### 4. 総会の開催

〔第58回〕

期 日：平成11年9月18日（土）

会 場：日本大学会館

会 長：岩崎有良（駿河台日本大学病院内科）

〔第59回〕

期 日：平成12年3月25日（土）

会 場：群馬県市町村会館

会 長：家崎 智（群馬県医師会長）

#### 5. 地方会合同開催の会議

##### 1. [地方会合同開催の経緯]

(1)平成11年9月3日、第1回常任世話人会（癌研究所附属病院化学療法センター会議室）で、小野良樹超音波部会世話人代表より、第60回地方会は各部会が一堂に会する合同開催にしてほしい旨の提案があった。

(2)審議のすえ下記の意見に集約された

①地方会とは別個に開催されてきた放射線技師部会学会・保健衛生部会研修会は第60回より、地方会と合同し開催し、超音波部会も加わる。

②第60回より年2回開催を1回とする。

③早急に「合同開催検討委員会」を構成し検討を始める。

④検討委員会の責任者は今村清子会長が当り、丸山代表世話人と相談し委員を決める。

⑤第33回放射線技師部会（長野県鈴木隆夫会長）は既に開催準備しているので、従来通り開催し、今後の放射線技師部会開催については部会に一任する。

⑥保健衛生部会と超音波部会は第60回より合同開催の形をとる。

⑦第60回地方会に、放射線技師部会員が演題発表や参加するのは従来と変わらない。

⑧合同開催地方会以外の、各部会活動はそれぞれの自主性に任せる。

※上記の審議内容は、平成11年9月18日、平成11年度第1回世話人会で承認された。

##### 2. [地方会合同開催の会議]

日 時：平成12年1月28日（金）午後6時より午後8時30分まで

場 所：関東甲信越地方会事務所

参加者：今村清子（第60回会長）

小野良樹（超音波部会代表世話人）

石渡良徳（放射線技師部会代表世話人）

玉置扶美代（保健衛生部会代表世話人）

議 事：

(1)第60回地方会企画案

※今村会長提案が了承された。

(2)分科会名称

※消化管造影，保健衛生，超音波とする。

(3)会場

※第1会場は301・302（午後の総会・全体講演会場に使用）

第2会場は303，第3会場は304，

(4)学会費助成金

※年1回開催なので60万円とするよう企画調整会議に提案する。

(5)第61回地方会開催

※企画調整会議で審議し常任世話人会で決める。

以上の件が審議され合意された。

## II. 学術講演会

### 1. 第58回学術講演会の開催

期 日：平成11年9月18日（土）

会 場：日本大学会館

会 長：岩崎有良（駿河台日本大学病院内科）

(1)一般演題 20題

(2)特別講演「肝癌の予防と予知の新しい視点」

講演者：荒川泰行（日本大学第3内科教授）

司 会：三木一正（東邦大学第1内科教授）

(3)教育講演「胃集検における精度管理の今日的課題」

講演者：宮下美生（長野県成人病予防協会常務理事）

司 会：岩崎有良（駿河台日本大学病院内科）

(4)シンポジウム「胃集検における標準化撮影法の見直しは必要か」

座 長：今村清子（横浜市立市民病院がん検診センター）

石渡良徳（神奈川県労働衛生福祉協会）

### 2. 第59回学術講演会の開催

期 日：平成12年3月25日（土）

会 場：群馬県市町村会館

会 長：家崎 智（群馬県医師会長）

(1)一般演題 17題

(2)特別講演「消化器がん死亡をなくすには」

講演者：藤森孝博（獨協医科大学病理学第二講座教授）

座 長：家崎 智（群馬県医師会長）

(3)シンポジウム I 「がん予防活動における保健婦の役割」

座 長：中村忠夫（新潟県・魚沼地域胃集団検診協議会）

江口英雄（山梨県・上野原町立病院）

(4)シンポジウムⅡ「“がん検診”問題点と将来像」

—老健法適用外，一般財源化により質と量はいかにあるべきか—

座長：今村清子（横浜市立市民病院がん検診センター）

斎藤洋子（茨城県総合健診協会）

### Ⅲ. 各部会活動報告

#### 1. 【保健衛生部会】

##### (1)世話人会

開催：10回（18:00～20:00）開催した。

議題：①第28回研修会について

②新世話人，現世話人の退任について

③地方会と研修会の合同開催について

④保健衛生部会会則及び拡充について

⑤第29回研修会について

⑥第30回研修会以降の開催について

##### (2)第28回保健衛生部会研修会

期日：平成11年7月27日（火）～28日（水），（9:00～16:00）

会場：国立がんセンター内 国際交流会館 国際会議場

参加者：51名

〔第1日〕

講演：「胃集検にかける情熱」

講師：市川平三郎（国立がんセンター中央病院名誉院長）

シンポジウム：「胃集検初心，忘れることなく」—集検の現状と将来—

助言者：宮下美生（長野県成人病予防協会常務理事）

〔第2日〕

講演：「肝胆膵がんの医療最前線」

講師：小野良樹（日本大学医学部第3内科）

講演：「胃がんの医療最前線」

講師：今村清子（横浜市立市民病院がん検診センター）

##### (3)役員の変替

新世話人：梶屋ハツ子（鎌倉市役所 保健福祉課）

退任：益子フサ，福田ジュン

#### 2. 【放射線技師部会】

##### (1)世話人会

開催回数：10回

開催場所：主に慶応がんセンター会議室

主な議題：①第32回技師部会について

②第33回技師部会について

会 長：鈴木隆夫（長野厚生連佐久総合病院）

開催日：平成12年10月7日

会 場：ホテルゴールデンセンチュリー一萬里（佐久市）

③第22回消化管撮影技術研修会について

④消化管撮影技術研修会教科書作成について

⑤第4回卒後研修会について

⑥市川賞・技術賞の推薦について

⑦世話人交替，新世話人について

⑧技師部会組織強化について

⑨地方会合同開催について

⑩学会認定技師制度について

(2)第32回放射線技師部会総会

期 日：平成11年10月16日（土）

会 場：サンシティー越谷市民ホール

会 長：堤 直葉（越谷市民病院）

出席者：約250名

①一般演題：4題

②特別講演：「原点にかえてルーチン検査を考えてみる」

講演者：安達純子（早期胃がん検診協会中央診療所）

座 長：堤 直葉（越谷市民病院）

③会長講演：「消化管検査に携わる技師の視線解析」

講演者：堤 直葉（第32回放射線技師部会会長）

座 長：藤間英雄（埼玉県立がんセンター）

④シンポジウム：「消化管X線TVの画像技術」

座 長：平野邦弘（群馬県立医療短期大学）

⑤市民公開講座：「市民と『がん』を語ろう」

講演者：市川平三郎（国立がんセンター中央病院名誉院長）

司 会：石渡良徳（神奈川県労働衛生福祉協会）

⑥表 彰：

〔第10回市川賞〕山岸忠好（日本健康倶楽部千葉支部）

〔平成11年度最優秀技術賞〕練馬区医師会医療健診センター

(3)第22回消化管撮影技術研修会

開 催 日：平成12年2月23日（水）～26日（土）

会 場：千葉厚生年金休暇センター

受講者数：112名

延受講者数：1,922名

(4)消化管撮影技術研修会教科書作成

編集委員：松江寛人，木村行俊，海老根精二，大槻清孝，石渡良徳，佐藤 忠，

編集会議：金原出版社で開催

書名：『最新 胃 X線検査技術－基礎と実際－』

発刊：平成12年3月23日

価格：7000円

(5)第4回卒後研修会

開催日：平成11年11月20日～21日

会場：湯河原厚生年金会館

受講者数：47名

(6)世話人交替，新世話人推薦

若干名の異動及び新世話人の推薦があった

(7)技師部会組織強化

世話人会組織強化と各世話人の任務の明確化のため各県担当世話人を置く。

(8)地方会合同開催

①従来通り地方会学会に参画し，放射線技師部門の担当を受け持つ。

②現行の技師部会総会は自主的に継続して行く。

③名称について「放射線技師部会」から「放射線部会」に改称する。

(9)学会認定技師制度

①本部学会の部会委員会（土井偉誉委員長）にて検討した。

②林 學と石渡良徳が関東甲信越地方会の部会委員となった。

③学会開催時の部会委員会及び臨時部会委員会を東京で開催し，臨時在京委員会で制度案を審議し最終案を作成した。

④制度案を第39回福岡学会（平成12年5月19～20日）の理事会に報告。

## 2. 【超音波部会】

[会議]

(1)常任世話人会

[第1回]

日時：平成11年6月30日（水）午後6時30分～8時30分

会場：日本大学医学部総合健診センター 会議室

出席：12名

議事：①第58回地方会一般演題提出の確認

②第1回超音波部会学術集会（超音波フォーラム）の件

③第1回超音波部会研修会（八海山セミナー）の件

[第2回]

日時：平成11年7月29日（水）午後6時30分～8時30分

会場：日本大学医学部総合健診センター 会議室

出席：15名

議事：①第1回超音波部会学術集会（超音波フォーラム）の詳細

②第1回超音波部会研修会（八海山セミナー）の詳細

③表彰規約の件

④超音波部会ホームページの検討

〔第3回〕

日 時：平成11年9月4日（土）午後5時00分～6時00分

会 場：日本大学八海山セミナーハウス

出 席：17名

- 議 事：①平成12年度超音波部会学術集会開催形態について  
②ホームページ内容の検討  
③第1回超音波部会学術集会のプログラム，宣伝方法

〔第4回〕

日 時：平成11年11月11日（水）午後6時30分～8時40分

会 場：日本大学医学部総合健診センター 会議室

出 席：15名

- 議 事：①平成11年度常任世話人・世話人合同会議の議案検討  
②超音波部会総会運営の協議  
③第1回超音波部会学術集会のスタッフ決定  
④懇親会予算の検討  
⑤第59回地方会一般演題の確認  
⑥ホームページ進展状況報告

〔第5回〕

日 時：平成12年1月20日（水）午後6時30分～8時30分

会 場：日本大学医学部総合健診センター 会議室

出 席：15名

- 議 事：①第1回超音波部会学術集会収支報告  
②平成12年度事業の検討  
③第2回超音波部会研修会（八海山セミナー）の検討  
④第2回超音波部会学術集会プログラム検討  
⑤ホームページ URL 会員への通知方法の検討

〔第6回〕

日 時：平成12年3月2日（水）午後6時30分～

会 場：日本大学医学部総合健診センター 会議室

出 席：

- 議 事：①第2回八海山セミナープログラム，通知方法検討

(2)常任世話人・世話人合同会議

日 時：平成11年11月27日（土）午前11時00分～11時45分

会 場：株式会社コニカ会議室（新宿野村ビル15F）

出 席：29名

議 長：小野良樹

書 記：佐藤桂子

議事書名人：小島正久，大波 忠，

議 事：第1号議案 庶務報告

第2号議案 平成11年度事業計画

- 第3号議案 平成11年度予算  
 第4号議案 第2回超音波部会学術集会当番世話人の選出  
 第5号議案 超音波部会会則，表彰規約の件  
 第6号議案 超音波部会役員の選出（平成11・12年度）

(3)総 会

日 時：平成11年11月27日（土）午後3時55分～4時10分  
 会 場：株式会社コニカ会議室（新宿野村ビル15F）  
 出 席：181名  
 議 長：小野良樹  
 書 記：佐藤桂子  
 議事書名人：小島正久，大波 忠，  
 議 事：平成11年度常任世話人・世話人合同会議の報告

[事 業]

(1)第1回超音波部会研修会（八海山セミナー）

日 時：平成11年9月4日（土）～5日（日）  
 会 場：日本大学八海山セミナーハウス  
 新潟県南魚沼郡六日町

参加数：25名

セミナープログラム：

超音波集検の現状と展望	竹原靖明（新横浜病院総合健診センター）
脂肪肝	小野良樹（日本大学医学部第3内科）
肝癌	依田芳起（山梨厚生連健康管理センター）
胆嚢癌	小島正久（関東中央病院健康管理科）
膵腫瘍	増田英明（横浜市立市民病院がん検診センター）
画像記録の展望	高田悦雄（獨協医科大学第1外科）

(2)第1回超音波部会学術集会（超音波フォーラム）

日 時：平成11年11月27日（土）午後12時30分～5時00分  
 会 場：株式会社コニカ会議室（新宿野村ビル15F）

参加数：181名

フォーラムプログラム：

〈教育セミナー〉

超音波検診 技師の立場から	山田清勝（関東中央病院画像診断科）
超音波検診 肝臓	依田芳起（山梨厚生連健康管理センター）
超音波検診 胆嚢・膵臓	増田英明（横浜市立市民病院がん検診センター）

〈基調講演〉

超音波集検の展望	竹原靖明（新横浜病院総合健診センター）
----------	---------------------

(3)超音波部会ホームページの開設

【URL】 <http://nazca.dokkyomed.ac.jp/mskanus/>

[平成12年度事業計画]

(1)第2回超音波部会研修会(八海山セミナー)

日 時:平成12年6月24日(土)~25日(日)

会 場:日本大学八海山セミナーハウス(新潟県南魚沼郡六日町)

募集人員:35名

プログラム:検討中

(2)第2回超音波部会学術集会

当番世話人:増田英明(横浜市立市民病院がん検診センター)

期 日:平成12年9月9日(土)

会 場:パシヒコ横浜(第60回関東甲信越地方会 今村清子会長)

プログラム:

〈シンポジウム〉

『腹部超音波集検(検診)の走査法』

〈教育セミナー〉

肝疾患

斎藤明子(東京女子医大消化器病センター)

胆・膵疾患

(3)超音波部会講演会

日 時:平成12年11月18日(土)

会 場:東京開催で検討中

内 容:検討中

(4)超音波部会ホームページ

※部会案内,活動報告,症例,施設紹介等,2~3ヶ月で更新予定

IV. 専門部会報告

1. 実施機関連絡協議会《委員不明》

※会議開催はなかった。

2. 財務委員会《委員5名》◎笹川道三,藤井照巳,今井仁彦,小林ユキ子,山田清勝,

※新委員選出が遅れ,会議開催はなかった。

※平成11年4月30日に各委員宛て平成10年度収支決算概要,収支計算書,  
財産一覧表を送付した。

3. 編集委員会《委員8名》◎丸山雅一,林 學,今井貴子,海老根精二,安掛武一,

米倉福男,小澤元美,竹林章子,鳥海 修,

[第1回]

期 日:平成10年7月27日 ※中止

会 場:地方会事務所

[第2回]

期 日:平成10年11月5日

会 場：地方会事務所

出席委員：5名

協議事項：

- ①「胃集検通信」前回48号について
- ②「胃集検通信」49号の編集企画について
- ③今後の編集委員会のあり方について

#### 4. 胃集検標準撮影方式再検討委員会

《選出委員8名》◎馬場保昌，丸山雅一，今村清子，北川まゆみ，木村俊雄，関本宏二，  
福岡良和，佐藤精二，

※会議開催はなかった。

#### 5. ペプシノーゲン検査法委員会

《選出委員6名》◎今井貴子，三木一正，田淵崇文，茂木文孝，志賀俊明，海老根精二，

※会議開催はなかった。

#### 6. 消化管造影技師法律問題対策委員会

《選出委員8名》◎丸山雅一，今村清子，石渡良徳，今井仁彦，海老根精二，木村俊雄，  
都築史郎，藤井照巳，《参与》加藤健次弁護士（東京法律事務所），

[委員会の目的]

- (1)「放射線技師の行う消化管造影の正当性」の法的論拠を構築する。
- (2)本地方会として法理論を整え，会員とその施設での問題発生時に備える。
- (3)医師会や国民全般に放射線技師の行う消化管造影の理解を訴えるための理論整備。

[第1回]

日 時：平成11年8月2日（月）午後5時30分～

会 場：地方会事務所

出席委員：加藤健次弁護士他，6名

討議事項：

##### (1)消化管造影技師の現状確認

- ①我が国の放射線技師は『違法・違反』の下で消化管造影に携わっている。
- ②厚生省の「がん等の集団検診事業における違反行為の監視について(昭和41年9月)」の通知は，33年経過した現在も改められていない。
- ③平成7年6月、日本医師会は胃部造影は『差し支えない』と改めたが，「大腸等のX線透視診断撮影のための造影剤の注入」は『行ってはならない行為』としている。
- ④日本放射線技師会は会誌に「放射線技師法の改正や廃止」論を掲載したが，「技師が行う消化管造影検査」については明確な方針を示していない。
- ⑤『違法・違反』の下で放射線技師は胃集団検診を30年以上行ってきた。その間，胃集検受診者は1億人近くになっている。
- ⑥現在，大腸造影検査の約60%は放射線技師により行われている。
- ⑦日本医師会の医師が経営する施設においても，公的施設でも放射線技師が大腸造影検

査を行っている。

- ⑧『違法・違反』で摘発された放射線技師はいない。
- ⑨本地方会も厚生省と医師会の『違法・違反』通告にたいし、放射線技師が行う消化管造影検査の法的正当性を訴える反論はしていない。

(2)準備した資料

- ①討議を進めるために
- ②厚生省、日本医師会の『違法・違反』とする文書
- ③医師以外が行う『医行為』について
- ④「医師法の経緯及び概要(医療法・医師法解より)」  
厚生省健康政策局総務課編(94.8.25)
- ⑤医師法・放射線技師法・救急救命士法・保健婦助産婦看護婦法の概要
- ⑥医師法の臨床研修について
- ⑦「放射線技師養成所指導要領」
- ⑧放射線技師法新旧対照条文
- ⑨技師会誌掲載「検証診療放射線技師法」の一部

〔第2回〕

日 時：平成11年11月17日(水)午後5時30分より9時00分まで

会 場：地方会事務所

出席委員：加藤健次弁護士，他6名，〈欠席委員〉3名

準備資料：

- (1)日経9月18日夕刊「注腸事故」記事
- (2)第1回消化管造影技師法律問題委員会のまとめ(事務局作成)
  - ①大腸造影検査の現状と法的問題
  - ②第1回委員会議事内容
- (3)「放射線技師の法律問題に関する検討メモ」(加藤健次弁護士作成)
  - ①問題の所在
    - a.問題の背景
    - b.診療放射線技師の検診に対する法律の規制の建前
  - ②検診における診療放射線技師の法律問題の具体的検討
    - a.集団検診における医師の立合問題
    - b.診療放射線技師による造影剤の服用指導と注入行為
    - c.問題解決のために必要なこと

討議事項：

- (1)「医行為」としての「集団検診」の性格付け
- (2)「診療の補助」の立法趣旨での違い(診療放射線技師法と保助看法)
- (3)放射線技師の「研修・資格制度・教育課程」への今後の問題提起
- (4)便潜血陽性者に二次精検として行われる「注腸検査」と「胃集検」の違い
- (5)「一般財源化」で予想される「集団検診」の精度低下が及ぼす影響
- (6)「集団検診」と「総合検診」での医師の「立合・指示」の法的性格

まとめ：

(1)「医行為」としての「集団検診」の性格が明確になった。

(2)地方会がこれまでにやってきた「研修会・専門資格・標準撮影法」等の活動が、放射線技師が集団検診を行う為の事業として、正しかったことが確認された。

次回の問題点：

(1)「医行為」としての「集団検診」を放射線技師が行う場合の法的整合性

(2)注腸X線検査での“管の挿入”など、「診療の補助行為」の問題

(3)消化管造影検査に携わる放射線技師の法律問題からの「資格制度・研修会」のあり方

(4)事故を想定し、地方会として予め会員に求めておくべき基準

(5)事故保険制度の評価と加入の是非

#### 7. 胃部造影指導技師・指導施設制度検討委員会

※放射線技師部会研修委員会より第1次「指導技師・指導施設制」案がだされ、それを基に第2次案を作成する。

#### V. 機関紙『胃集検通信』の発刊

〔第51号〕：平成11年 6月10日発刊

〔第52号〕：平成11年 9月10日発刊

〔第53号〕：平成11年12月15日発刊

〔第54号〕：平成12年 3月10日発刊

## VI. 会員の状況

### 1. 【各会員別・都県別会員数の前年度比】

(平成12年3月31日現在数)

都 県 名	団 体 会 員	個 人 会 員	賛 助 会 員	協 力 会 員
茨 城 県	13	38		
栃 木 県	13	43 (+2)		
群 馬 県	10	32 (+1)		
埼 玉 県	12	73		
千 葉 県	11	60 (-1)		
東 京 都	62 (-3)	248 (+10)	13	5 (-1)
神 奈 川 県	18 (-1)	109 (+9)		
山 梨 県	4	13		
長 野 県	19	41 (+1)		
新 潟 県	13	27 (-1)		
そ の 他	1	30 (+1)		
合 計	176 (-4)	714 (+23)	13	5 (-1)

会員数合計 908名 (+18名)

### 2. 【個人会員の都県別・職種別数の前年度比】

(平成12年3月31日現在数)

都 県 名	医 師	放射線技師	保健婦	看護婦	臨床検査技師	その他	特別	合 計
茨 城 県	4	28	0	0	6	0	0	38
栃 木 県	10	23(+2)	0	0	8	0	2	43(+2)
群 馬 県	12(+1)	15	1	0	4(+1)	0	0	32(+2)
埼 玉 県	21(+1)	37(-1)	4	0	9	1	1	73
千 葉 県	21	27(-2)	6	0	6(+1)	0	0	60(-1)
東 京 都	48	101(+3)	12	8	77(+8)	0(-1)	2	248(+10)
神 奈 川 県	16(+1)	59(+8)	5	5	24	0	0	109(+9)
山 梨 県	8	3	0	0	2	0	0	13
長 野 県	10(-1)	18(+1)	2	0	9(+1)	1	1	41(+1)
新 潟 県	8	6(-1)	0	0	13	0	0	27(-1)
そ の 他	1	26(+1)	3	0	0	0	0	30(+1)
合 計	159(+2)	343(+11)	33	13	158(+11)	2(-1)	6	714(+23)

## 3. 【各会員別・各年度別数】

( ) 内は前年比

年 度	団 体 会 員	個 人 会 員	賛 助 会 員	合 計	
昭和57年度	197	257	36	490	
58	230(+33)	317(+60)	27(-9)	574(+84)	※注1
59	273(+43)	329(+12)	35(+8)	637(+63)	※注2
60	265(-8)	371(+42)	33(-2)	669(+32)	※注3
61	265(0)	469(+98)	31(-2)	765(+96)	
62	257(-8)	486(+17)	31(0)	774(+9)	
63	260(+3)	483(-3)	29(-2)	772(-2)	
平成元年度	250(-10)	475(-8)	29(0)	754(-18)	
2	247(-3)	475(0)	28(-1)	750(-4)	
3	233(-14)	489(+14)	26(-2)	748(-2)	
4	226(-7)	503(+14)	26(0)	755(+7)	
5	220(-6)	473(-30)	26(0)	719(-36)	
6	205(-15)	490(+17)	25(-1)	720(+1)	
7	206(+1)	489(-1)	24(-1)	719(-1)	
8	204(-2)	486(-3)	23(-1)	713(-6)	
9	199(-5)	520(+34)	23(0)	742(+29)	
10	184(-15)	690(+170)	19(-4)	893(+151)	※注4
11	176(-4)	714(+23)	18(-1)	908(+18)	※注5

※注1. 昭和58～59年の団体会員76増は、老人保健法施行、胃集検放射線実態調査実施精度管理委員会発足等により、本会の存在が認識された為と考えられる。

※注2. 昭和58年以後の賛助会員数は協力懇話会員を含めた数。

※注3. 昭和60～61年の個人会員140名増は、全国胃集検放射線技師連絡会設立、全国胃集検放射線実態調査実施など技師活動の活性化が要因と考えられる。

※注4. 個人会員増は主に超音波部会発足による臨床検査技師・看護婦等の入会による。

※注5. 前年度比団体会員数が合わないのは前年度に非会員団体を含めていたため。

## 日本消化器集検学会関東甲信越地方会の組織・財政について（その2）

★事務局作成

## I. 《財政》

## 1. 収入：

(1)これまでは、がん検診事業を行う施設が本会に団体加入し、協同して国や地方自治体に老人保健法を有意に進めさせる加入意義があった。しかし、「がん検診事業にたいする国庫負担金の一般財源化」により、その意義が薄れ団体会員の退会が続き団体会費収入が減っている。

前年平成10年度9月比で16団体の退会、64万円の減収。

現行会費となった昭和63年度決算額と比べると団体会費は336万円の減収となっている。

(2)個人会員は超音波部会発足により平成10年度9月比で194名増えている。

現行会費となった昭和63年度決算時と比べると個人会員は230名の増、決算額では65万円の増収となっている。

しかし、個人会費(4000円)は会員一人当たりの事務経費とほぼ相殺し、人件費・事務所管理費分を賄えず財政運営上それ程プラスにならない。

(3)広告料収入は学会プログラムに広告を無くした為、平成10年度比で-49万円となるが、学会プログラムに広告を付ければ(B5版13~15社、ページ4万円)、印刷費や郵送費支出が高くなり、収支では-になる。

## (5)平成11年度決算【収入】内訳

## ①【収入合計に占める各収入の割合】

収入合計	17,279,088円	%	摘要
一般会費収入	10,084,000	58.4	
特別会費収入	455,000	2.6	
本部補助金	200,000	1.2	
広告料収入	1,227,000	7.1	
預金取崩	4,500,000	26.0	※前年度本年度退職金支払等の為の取り崩し
前年度繰越金	554,623	3.2	
諸収入	258,465	1.5	※市川先生論説集出版費25万円分の寄付金を含む

## ②【一般会費収入の各会費の割合】

一般会費収入	10,084,000	%	摘要
団体会費(176)	6,840,000	67.8	※総収入の約40%
個人会費(690)	2,624,000	26.0	※総収入の約15%
賛助会費(13)	620,000	6.2	※総収入の約4%

## ③【昭和63年度と平成11年度会費収入比較】(昭和63年より現会費に改定された)

会費収入	昭和63年度決算	平成11年度決算	対比
団体会費収入	1020万円(256団体)	684万円(176団体)	-336万円
個人会費収入	197 "(484人)	262 "(714人)	+65 "
賛助協力会費収入	186 "	107 "	-79 "
合計	1403万円	1053万円	-350万円

2. 支出：

(1)平成11年度決算【支出】内訳

①【支出合計に占める各支出の割合】

支 出 合 計	15,699,958	%	摘 要
管 理 費	11,271,167	71.8	※退職金168万4千円、事務引継賃金を含む
学 会 費	1,421,270	9.0	
業 務 費	3,007,521	19.2	
財 政 調 整 資 金 積 立 金	0	0	
予 備 費	0	0	

②【管理費の各費目の割合】

管 理 費 支 出	11,271,167	%	摘 要
給 与 ・ 賃 金	5,660,562	50.2	※支出合計全体では36%
社 会 保 険 負 担 金	288,871	2.6	
退 職 金	1,684,000	14.9	
事 務 引 継 期 間 賃 金	600,000	5.3	
賃 貸 料	855,000	7.6	※支出合計全体では5.4%
そ の 他	2,182,734	19.4	

(2)昭和63年度と平成11年度収支決算比較（昭和63年より現会費に改定された）

①【昭和63年度と平成11年度収入支出比較】

	昭 和 6 3 年 度 決 算	平 成 1 1 年 度 決 算	対 比
収 入 合 計	1,854万円	1,728万円	-126万円
支 出 合 計	1,785 "	1,340 "(退職金等除く)	+445 "
収 支 差	+69万円	+388万円	+319万円

②【昭和63年度と平成11年度主な支出項目比較】

	昭 和 6 3 年 度 決 算	平 成 1 1 年 度 決 算	対 比
給 与 ・ 賃 金 合 計	859万円	566万円	-293万円
旅 費 交 通 費 合 計	88 "	54 "	-34
印 刷 製 本 費 合 計	155 "	121 "	-34
通 信 運 搬 費 合 計	106 "	113 "	+7
編 集 費	89 "	62 "	-27
賃 貸 料	62 "	86 "	+24
事 務 所 管 理 費	32 "	8 "	-24
部 会 委 員 会 活 動 費	200 "	100 "	-100
対 比 合 計			-481万円

(3)給与賃金支出は支出全体に占める割合は36%で、昭和63年度決算当時に比較し賃金ベースの上昇等を勘案すると50%位に節減されている。

(4)事務運営経費は郵送料値上がり除けば、印刷機購入により年4回の機関紙印刷以外の外注をなくした他、全項目ではほぼ経費の削減を完了した。ただコピー機リース支払いが9月まで残っている。

### 3. 「財政」のまとめ

(1)平成9年度は長欠給(12ヵ月、288万円)、10年度は退職金(192万円)の計480万円の予算外支出を予算内で処理をしたため、その分、次年度繰越金が少なくなった。11年度は退職金(168万4千円)と事務引継期間の貸金支出があり、定期預金250万円を取崩し予算を組んだが、期末には資金が不足し更に預金を200万円、計450万円取り崩したが、結果的には収支残高が約158万円、第60回学会助成金前払い分30万円があり、ほぼ予算内で処理が出来た。

この3年間の通常経費外支出は約700万円になる。一方で団体会員の退会による大幅な減収もあったので、差し引きでは400万円近くの経費節減をしてきたことになる。

(2)現状の会運営は「収入」の40%を占める団体会費に依存している。団体会員の減少傾向は続き、いずれは個人会費主体の財政運営に改めざるを得なくなる。

(3)今後、個人会員の増はそれほど多くは期待出来ない。増えても現会費(4000円)では会員一人当たりの事務経費と相殺して、人件費や事務管理費までは賄いきれない。

(4)現行会費に改定した昭和63年度と平成11年度を比較すると、団体会費では80団体減で-336万円。個人会員は230名増えているが+65万円で、収支は-271万円になる。

(5)運営経費は昭和63年度は1785万円、平成11年度は1340万円で445万円節減され、運営経費を節減した分で、団体会員減少による収入減を補ったといえる。

(6)賛助会費は会員毎に会費額が違い寄付金の性格が強かったので、12年度より各会員同額の4万円に改正した。

## II. 《組織と運営》

1. 会員登録、会費納入等のシステム化が殆どできあがった。
2. 文書類の規定化もほぼ終わった。
3. 就業規則が決まり、それにより業務運営が行われている。
4. 会則が改正され不備がなくなった。
5. 各部会会則も作成された。
6. 地方会は年1回合同開催に改められた。
7. 機関紙の形態が「新聞」より「会誌」に変更されることが決まった。

## III. 《今後の会運営》

1. 放射線部会、超音波部会、保健衛生部会の各部会の活性化
2. 新「会誌」発刊に伴う編集委員会の点検と活動方針の作成
3. 上部消化管造影指導技師・指導施設制度の立案と実施
4. 放射線技師のための下部消化管造影技術研修会の開催
5. 消化管造影技師法律問題対策委員会の指針作成
6. 新「胃集検標準撮影方式」の提案

以上

関 東 甲 信 越 地 方 会 【資 産】 推 移 (収支決算報告書より)

年 度	1. 流 動 資 産			2. 固 定 資 産			3. 負 債	資 産 合 計	現 金 定期預金 合 計	
	現 金		計	(1)基本財産 勘定・勘定	(2)敷 金 事務所 敷金	(3)器具備品				計
	普通預金	振替預金								
昭和61年	119,754	910	31,938	105,000	520,000	1,618,000	3,188,000	0	3,340,602	257,602
62	678,118	112,410	11,373	1,050,000	520,000	1,618,000	3,188,000	400,000	3,589,901	1,460,910
63	573,075	79,585	41,300	1,550,000	520,000	0	2,070,000	0	2,763,960	2,243,960
平成元年	1,267,134	1,085	289	2,050,000	520,000	0	2,570,000	0	3,838,508	3,318,508
2	2,946,817	1,111,085	81,110	2,690,000	520,000	0	3,210,000	0	6,349,012	5,829,012
3	1,361,348	2,029,735	146,550	4,190,000	770,000	122,570	5,082,570	0	8,620,203	7,727,633
4	2,796,547	497,089	136,409	7,190,000	770,000	122,570	8,082,570	0	11,512,615	10,620,045
5	4,917,470	301,089	170,678	7,500,000	770,000	122,570	8,392,570	0	13,718,807	12,826,237
6	1,382,044	5,589	93,789	12,500,000	770,000	122,570	13,392,570	0	14,873,992	13,981,422
7	316,678	150,589	52,774	13,500,000	770,000	122,570	14,392,570	0	14,912,611	14,020,041
8	647,940	280,589	112,889	13,500,000	770,000	122,570	14,392,570	0	15,433,988	14,541,418
9	911,464	174,489	36,695	13,500,000	65,000	138,495	13,703,495	0	14,826,142	14,622,647
10	151,086	379,489	24,048	13,500,000	65,000	138,495	13,703,495	0	14,258,118	14,054,623
11	680,821	864,977	33,332	※9,000,000	65,000	498,855	9,563,855	0	11,142,985	10,579,130

## 【摘 要】

※平成11年定期預金取崩450万円は退職金支払い等による

関 東 甲 信 越 地 方 会 【収入支出】推 移 (収支決算報告より)

年 度	収 入				支 出			収入支出 差引 残 金	次年度繰越金
	収入合計	一般会費		記 録 内 費	広 告 料	支出合計	給与・賃金		
		団 体	個 人						
昭和61年	20,451,519	10,765,000	8,040,000	1,715,000	1,010,000	3,455,800	20,298,917	8,137,680	152,602
62	17,490,801	10,534,000	7,870,000	1,704,000	960,000	4,611,000	16,688,900	7,254,000	801,901
63	18,544,158	13,083,500	10,200,500	1,973,500	910,000	3,402,400	17,850,198	8,589,000	693,960
平成元年	18,240,522	13,086,500	10,240,000	1,936,500	910,000	3,197,176	16,972,014	8,292,198	1,268,508
2	18,688,975	12,806,000	9,960,000	1,936,000	910,000	3,335,000	15,549,963	6,557,850	3,139,012
3	19,600,984	11,982,500	9,360,000	1,892,500	730,000	3,344,282	16,063,351	5,988,200	3,537,633
4	19,289,276	11,823,500	9,160,000	1,923,500	740,000	2,455,779	15,859,231	6,076,200	3,430,045
5	19,081,792	11,321,000	8,720,000	1,871,000	730,000	2,931,758	13,755,555	6,183,720	※2,326,237 ※1
6	20,657,464	11,101,000	8,720,000	1,771,000	610,000	2,961,137	19,176,042	6,191,440	1,481,422
7	16,226,498	10,357,389	7,920,110	1,808,000	629,279	3,025,279	15,706,457	6,497,680	※1,520,041 ※2
8	14,974,762	10,506,000	8,040,000	1,896,000	570,000	2,745,352	13,933,344	6,686,640	1,041,418
9	15,198,512	10,476,000	7,760,000	1,936,000	780,000	2,853,269	14,075,855	6,697,840	1,122,647
10	14,481,484	10,466,000	7,480,000	2,316,000	670,000	1,716,000	※13,926,861	※7,773,879	554,623 ※3
11	※17,279,088	10,084,000	6,840,000	2,624,000	620,000	1,227,000	※15,699,958	※7,944,562	1,579,130 ※4

## 【摘 要】

※1：定期預金へ300万円(5月30日)

※2：定期預金へ200万円(3月27日)

※3：「支出合計」「給与・賃金」に退職金192万円、長欠給支給分を含む。

※4：「収入合計」には預金取崩450万円を含む。「支出合計」「給与・賃金」に退職金168万4千円、事務引き継ぎ期間貸付金を含む。

日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会  
平成11年度収支決算書

自 平成11年4月 1日

至 平成12年3月31日

## 1. 収入の部

(△:減) (単位:円)

款	項	目	節	当初予算額	補正額	予算額	決算額	過不足	摘要
1. 会費収入				11,205,000	0	11,205,000	10,539,000	666,000	
	1. 会費収入			11,205,000	0	11,205,000	10,539,000	666,000	
		1. 一般会費収入		10,450,000	0	10,450,000	10,084,000	△366,000	
			1. 団体会費収入	7,600,000	0	7,600,000	6,840,000	△760,000	※注1
			2. 個人会費収入	2,260,000	0	2,260,000	2,624,000	364,000	※注2
			3. 賛助会費収入	590,000	0	590,000	620,000	30,000	※注3
		2. 特別会費収入		755,000	0	755,000	455,000	△300,000	
			1. 協力会費収入	755,000	0	755,000	455,000	△300,000	※注4
2. 補助金				200,000	0	200,000	200,000	0	
	1. 補助金			200,000	0	200,000	200,000	0	
		1. 補助金		200,000	0	200,000	200,000	0	
			1. 本部 補助金	200,000	0	200,000	200,000	0	
3. 事業収入				1,780,000	0	1,780,000	1,227,000	△553,000	
	1. 事業収入			1,780,000	0	1,780,000	1,227,000	△553,000	
		1. 事業収入		1,780,000	0	1,780,000	1,227,000	△553,000	
			1. 広告料収入	1,780,000	0	1,780,000	1,227,000	△553,000	※注5
4. 諸収入				10,000	0	10,000	258,465	248,465	
	1. 諸収入			10,000	0	10,000	258,465	248,465	
		1. 諸収入		10,000	0	10,000	258,465	248,465	
			1. 受取利息	10,000	0	10,000	6,188	△3,812	
			2. 雑収入	0	0	0	252,277	252,277	※注6
5. 繰越金				2,500,000	0	2,500,000	4,500,000	2,000,000	
	1. 繰越金			2,500,000	0	2,500,000	4,500,000	2,000,000	
		1. 繰越金		2,500,000	0	2,500,000	4,500,000	2,000,000	
			1. 預金取崩収入	2,500,000	0	2,500,000	4,500,000	2,000,000	※注7
6. 前年度繰越金				2,000,000	0	2,000,000	554,623	△1,445,377	
収入合計				17,695,000	0	17,695,000	17,279,088	△415,912	

## 【摘要】

- ※注1. 団体会員決算収入数171 (前納・未納があり現状数と差がある), 予算計上会員数190, 年度末会員数176,  
 ※注2. 個人会員決算収入数656 (前納・未納があり現状数と差がある), 予算計上会員数565, 年度末会員数714,  
 ※注3. 賛助会員数13, 前年度対比±0,  
 ※注4. 協力会員数 5, 前年度対比-1,  
 ※注5. 広告料収入は「胃集検通信」年4回掲載分のみで、事務局作成学会プログラムは広告なしにした為の減収分。  
 ※注6. 雑収入の内250,000円は市川先生「視点論説集」出版補助金として、市川先生レントゲン賞受賞祝賀会よりの寄付金。  
 ※注7. 退職金1,68万4千円、事務引継ぎ期間3ヵ月分の賃金計200万円、印刷機購入資金50万円で250万円の預金取崩を予定したが、9年度は長欠給(12ヵ月、288万円)、10年度は退職金(192万円)の予算外支出を予算内で処理してきた為、次年度繰越金が少なくなり、経費節減を行っても本年は期末に資金が不足し更に200万円を取り崩した。結果的には差引残高が158万円、第60回開催前払い30万円があり、ほぼ予算内で資金は足りた。

## 1. 支出の部《平成11年度収支決算書》

(△:減) (単位:円)

款	項	目	節	当初予算額	補正額	予算額	決算額	過不足	摘要
1. 管理費				11,530,800	0	11,530,800	11,271,167	258,833	
	1. 管理費			11,530,800	0	11,530,800	11,271,167	258,833	
		1. 管理費		11,530,800	0	11,530,800	11,271,167	258,833	
			1. 報償費	30,000	0	30,000	0	30,000	
			2. 給与手当	6,000,000	0	6,000,000	5,642,000	358,000	※1
			3. 賃金	1,900,000	0	1,900,000	2,302,562	△402,562	※2
			4. 社会保険負担金	170,000	0	170,000	288,871	△118,871	※3
			5. 事務所管理費	200,000	0	200,000	82,461	117,539	
			6. 旅費交通費	400,000	0	400,000	537,360	△137,360	※4
			7. 会議費	100,000	0	100,000	66,368	33,632	
			8. 渉外費	300,000	0	300,000	50,000	250,000	
			9. 器具備品費	850,000	0	850,000	598,200	251,800	
			10. 消耗品費	120,000	0	120,000	292,336	△172,336	※5
			11. 印刷製本費	200,000	0	200,000	305,235	△105,235	※6
			12. 賃借料	780,000	0	780,000	855,000	△75,000	
			13. 通信運搬費	400,000	0	400,000	236,011	163,989	
			14. 雑費	80,000	0	80,000	14,763	65,237	
2. 事業費				5,680,000	0	5,680,000	4,428,791	1,251,209	
	1. 学会費			1,160,000	0	1,160,000	1,421,270	△261,270	
		1. 学会費		1,160,000	0	1,160,000	1,421,270	△261,270	
			1. 助成金	600,000	0	600,000	900,000	△300,000	※7
			2. 印刷製本費	150,000	0	150,000	29,925	120,075	※8
			3. 消耗品費	10,000	0	10,000	47,995	△37,995	
			4. 通信運搬費	350,000	0	350,000	387,437	△37,437	
			5. 雑費	50,000	0	50,000	55,913	△5,913	
	2. 業務費			4,520,000	0	4,520,000	3,007,521	1,512,479	
		1. 部会委員会活動費		1,800,000	0	1,800,000	1,000,000	800,000	
			1. 連絡協議部会費	100,000	0	100,000	0	100,000	
			2. 放射線技術部会費	600,000	△100,000	500,000	500,000	100,000	
			3. 保健婦部会費	200,000	0	200,000	200,000	0	
			4. 超音波部会	200,000	100,000	300,000	300,000	△100,000	
			5. 委員会費	600,000	0	600,000	0	600,000	※9
			6. 協力懇話会費	100,000	0	100,000	0	100,000	
		2. 刊行費		2,720,000	0	2,720,000	2,007,521	712,479	
			1. 編集費	850,000	0	850,000	624,456	225,544	
			2. 印刷製本費	1,000,000	0	1,000,000	869,925	130,075	
			3. 通信運搬費	550,000	0	550,000	504,000	46,000	
			4. 旅費交通費	300,000	0	300,000	0	300,000	※10
			5. 消耗品費	10,000	0	10,000	9,140	860	
			6. 雑費	10,000	0	10,000	0	10,000	
3. 財政調整資金積立金				85,000	0	85,000	0	85,000	
4. 予備費				400,000	0	400,000	0	400,000	
	支出合計			17,695,000	0	17,695,000	15,699,958	1,995,042	

【摘要】

- ※1. 給与と年度末手当4カ月分
- ※2. 退職金1,684,000円、事務引継ぎ期間3カ月分の臨時給与、学会日休日出勤・会議日超過勤務手当等
- ※3. 社会保険負担金増分
- ※4. 通勤交通費、学会日交通費等
- ※5. 用紙代等の不足分
- ※6. 封筒印刷増分
- ※7. 第60回地方会助成金前払い分
- ※8. 印刷機購入により外注がなくなった為の費用減
- ※9. 殆どの委員会活動がなかった
- ※10. 取材活動費としての支出がなかった

項目	金額	内容	備考
※1	882,357.0		
※2	1,684,000.0		
※3	0.0		
※4	0.0		
※5	0.0		
※6	0.0		
※7	0.0		
※8	0.0		
※9	0.0		
※10	0.0		
合計	882,357.0		

日本消化器集検学会関東甲信越地方会

平成11年度収支決算書《財産一覧表》

(平成12年3月31日)

(単位：円)

科目	適 用	金 額	摘 要
1. 流動資産			
(1) 現金	第一勧業銀行有楽町支店 (普通預金)	680,821	
	東京預金事務センター (振替預金)	222,289	
	手持現金	33,332	
	郵便貯金	642,688	
計		1,579,130	
2. 固定資産			
(1) 基本財産	東京三菱銀行大塚支店 (定期預金)	9,000,000	※注1
(2) 敷 金	井合ビル事務所敷金	65,000	
(3) 器具備品	(取得価格10万円以上の器具備品)	498,855	※注2
計		9,563,855	
3. 負 債		0	
資産合計		11,142,985	

収入合計金額 17,279,088円

支出合計金額 15,699,958円

差引残高 1,579,130円

そのうち

次年度繰越金 1,579,130円

【摘要】

※注1. 平成11年5月より定期預金預入先を第一勧業銀行有楽町支店より東京三菱銀行大塚支店変更した。

※注2. 新に印刷機購入代金360,360円が加わった。

監査の結果適正に行使されているものと認めます。

平成12年 5月 日

監 事 倉 井 亮 印

監 事 萩 原 明 印

【訂 正】

1. 18頁下段, 誤: ②「一般会計収入の各会費の割合」の個人会費 (690)  
正: (714)

## 【学 会 案 内】

### 第60回日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会

第2回超音波部会学術集会◆第29回保健衛生部会研修会◆第1回消化管造影フォーラム

日時：2000年9月9日（土）

会場：パシフィコ横浜

会長：今村清子（横浜市立市民病院 がん検診センター）

---

### 日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会 第33回放射線技師部会総会

日時：2000年10月7日（土）

会場：ホテル ゴルデンセンチュリー（佐久市）

会長：鈴木隆夫（JA長野厚生連健康管理センター）

---

### 第38回日本消化器集団検診学会秋季大会

日時：2000年10月25日（水）～28日（土）

会場：神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場、ワールド記念ホール

会長：岩崎有良（日本大学第3内科）

---

### 第13回日本消化管撮影研究会

日時：2001年1月27日（土）

会場：北海道大学学術交流会館（札幌市）

会長：渡邊一知（北海道労働保健管理協会）

---

### 第61回日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会

第3回超音波部会学術集会◆第30回保健衛生部会研修会◆第2回消化管造影フォーラム

日時：2001年秋季

会場：栃木（未定）

会長：石川 勉（栃木県がんセンター）

---

### 日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会 第34回放射線技師部会総会

日時：2002年3月9日（土）

会場：茨城県総合福祉会館（水戸市）

会長：並木良宣（日立メディカルセンター）

---